

活 動 の 思 い 出

2017年度の活動から

健康行動論 (5月9日)



健康学習論 (5月31日)



基礎看護技術演習 (10月3日)



市民公開講座 (11月25日)



ヘルスプロモーション論 (12月19日)



フォーラム (1月27日)



COC 事務局からひとこと



COC 編集部門のつぶやき

看護師を目指す本学の学生にとって、COC 事業を通して地域の皆様にインタビューをさせていただいたことは、かけがえない学びとなりました。おかげさまで、卒業し病院に勤務してからも、患者さんが入院される前にお元気であった時の生活に思いをはせることのできる看護師に育っているようです。大勢の学生を温かく受け入れてくださった地域の皆様に心からお礼を申し上げます。(M・O)

実際に大学の外に出て、地域で健康測定のお手伝いや受付をさせていただいた時に印象に残ったのは、学生さんと住民さんが世代を超えてとても楽しそうに笑顔で話している場面です。人は、話をする、話を聞いてもらえるということで自然に笑顔になるのだなと思いました。笑顔が繋ぐ地域づくりがもっと盛んになっていくといいなと思いました。(T・M)

市民公開講座(2017年11月25日開催)で伺った高知大学の学生さんのお話に感動しました。30キロ離れている住民さんに会いたくて、お休みの日でもバイクを走らせると聞き、そのエネルギッシュな人柄にもふれて嬉しくなりました。高齢化がすすむ中、若い人がいるだけで地域は活気つきますし、若い人が引っ張っていく地域づくりは必要だと思いました。(M・A)

はじめて好きな人に誘われて会った16の時。大江の『万延元年のフットボール』を貸してくれた。プルーストやドストエフスキーも読んでいて、開高が肌に合うと言っていた。募る一方の想いが行き場をなくした儂い苦い恋だった。40年近くたって、三宮に向かう通勤電車でそのTと時々同じ車両に乗り合わせることがあった。気づいてないふりをして密かに楽しみにしていた。一昨年の冬頃から、姿を見なくなった。電車から見えるTの名を冠したクリニックの明かりが消えていた。そのうち、芥川賞なんかもらっちゃたりして…と思っていたら、心筋梗塞で2年前に亡くなったと、昨日、風のたよりに聞いた。電車に乗り合わせることはいらない。一度ぐらい、目を合わせてみたらよかったな、と思う。

さて、COCニュースレターは、毎号、地域住民の方、行政の方、学生・教員の寄稿を紙面のフォーラムとして運営し、ベースカラーに季節を盛り込み、COC担当教員・事務担当者、私達COC編集部門の教員でお送りしてきました。最終号となる今号は、これからどんどん大きくなっていくパンダのシャンシャンにあやかり、笹の葉カラーを添えてお送りします。本学のCOC事業で根付いた各種事業が人々の関心を集め、学内外で発展していくことを祈念しています。これまでのご参加ご協力、本当に有り難うございました。(編集部門代表・SF)

発行所： 神戸市看護大学 地域連携教育・研究センター

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地 TEL：078 (794) 8048

問い合わせ先：kangococ@tr.kobe-ccn.ac.jp

平成29年度 第331号-2 (広報印刷物規格 A-6類)